

腎協第 21-1029 号
2021 年 7 月 7 日

全腎協加盟組織 御中
全腎協ブロック担当理事 各位

一般社団法人 全国腎臓病協議会
災害対策委員会委員長 馬場 享

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-24
パシフィックスクエア千石 802
TEL 03-5395-2631/FAX 03-5395-2831

大雨の災害対策について【注意喚起】

日頃より全腎協の活動にご協力いただきありがとうございます。

この度、熱海市伊豆山地区で発生した土石流は、同地区に甚大な被害をもたらしました。この度の災害に際しまして、謹んでお見舞い申し上げます。

さらに梅雨前線の活発な活動の影響で、今後も各地域に警報級の大雨の恐れがあり、これまでの雨で地盤の緩んでいる地域に、さらなる大雨が予想されるため、大雨、土砂災害に対して嚴重な警戒が必要です。

気象庁から 7 月 7 日(水)12 時時点で次のような災害情報が出ております。

- ◆活発な梅雨前線の影響で、島根県と鳥取県で線状降水帯が確認され、非常に激しい雨が同じ場所に降り続けているとして「顕著な大雨に関する情報」が発表されました。
- ◆岡山県、兵庫県では土砂災害の危険性が非常に高まり「土砂災害警戒情報」が発表されている地域が出ております。
- ◆8 日昼までの 24 時間に降る雨の量は、中国地方で 150 ミリ、九州北部で 120 ミリ、近畿と北陸で 100 ミリ、東海で 80 ミリ、東北で 50 ミリ、関東甲信で 40 ミリと予想されています。
- ◆9 日昼までの 24 時間には、九州北部で 100～150 ミリ、中国地方と近畿、北陸、東海、関東甲信で 50～100 ミリ、東北でおよそ 50 ミリの雨が降る見込みで、今後も、大雨の可能性ががあります。
- ◆土石流が発生した静岡県熱海市では、引き続き土砂災害の危険性が非常に高く、今後、少ない雨でも再び土砂災害が起きるおそれがあります。

当該地区の加盟組織におかれましては、今後の気象予報や警報等に十分注意をいただき、ご対応をお願い申し上げます。

併せて、県組織内の透析医療機関の被害状況、会員・患者の被害状況等の情報収集及び全腎協事務局への報告をお願いいたします。

役員、事務局ご担当者様も怪我など無いよう十分ご注意のうえご対応をお願いいたします。